

北教だより

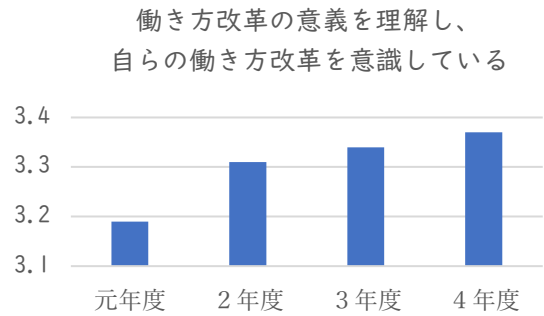
進む教職員の意識改革 ～ 次の鍵は、管理職 ～

「この学校の働き方改革のポイントは何か?」
学校訪問の際、このような質問をさせていただくと、
以下のような話を聞くことがあります。

- ・「遅くても19時には帰ろうと呼びかけています」
- ・「月に2回は定時退勤日をつくっています」
- ・「会議の終了時刻を守るように改善しました」
- ・「5時間授業の日を、学期で2日増やしました」
- ・「在校時間が長い教員でも、生き生き勤務しているので大丈夫だと思います」

どんな印象を持たれたでしょうか。管理職がこの段階で満足してしまっただけでは、進んできた職員の意識改革に
応えられないのではないのでしょうか。

信頼される学校づくりのための自己点検
(教職員調査結果) ※4件法



働き方改革のための次の一手は...? ～ 必要なところに、改革の手を届かせるために ～

超過在校等時間調査から、各学校の超過勤務時間縮減が一気に進んだ様子が伺えます。少し古いデータですが、2017年当時の超過勤務時間が週60時間を超えるかどうかの勤務の差がどの業務にあるのかを比較できるデータをお示しします。8月末に中央教育審議会から出された「教師を取り巻く環境整備について緊急に取り組むべき施策(提言)」では、各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直しの項の中で、授業時数について点検した上で、令和6年度に向けて適切に対応策を講ずるよう示されています。各学校の現状や超過勤務が長くなる職員の現状等に合わせ、必要なところに手が届く働き方改革の推進をお願いいたします。

忙しさの理由:「何に時間を使っているの?」(2017年 中央教育審議会 事務局資料より)

【小学校】教諭の平日の1日	週60時間以上		週60時間未満		時間差(分)
	従事時間(分)	比重	従事時間(分)	比重	
授業	268	36.5%	264	42.3%	4
授業準備	99	13.5%	66	10.6%	33
朝の業務	37	5.0%	35	5.6%	2
成績処理、テスト作成・採点、提出物確認等	41	5.6%	29	4.6%	12
学校行事、児童会	38	5.2%	24	3.8%	14
給食、掃除、登下校、休み時間等の指導	65	8.8%	58	9.3%	7
学年・学級経営(学活、連絡帳、学級通信等)	29	3.9%	21	3.4%	8
会議、打ち合わせ	34	4.6%	26	4.2%	8

【中学校】教諭の平日の1日	週60時間以上		週60時間未満		時間差(分)
	従事時間(分)	比重	従事時間(分)	比重	
授業	207	28.4%	205	33.4%	2
授業準備	93	12.8%	78	12.7%	15
朝の業務	37	5.1%	36	5.9%	1
成績処理、テスト作成・採点、提出物確認等	43	5.9%	32	5.2%	11
学校行事、生徒会	40	5.5%	24	3.9%	16
給食、掃除、登下校、休み時間等の指導	65	8.9%	58	9.4%	7
部活動・クラブ活動	51	7.0%	27	4.4%	24
学年・学級経営(学活、連絡帳、学級通信等)	43	5.9%	30	4.9%	13
会議、打ち合わせ	35	4.8%	30	4.9%	5